



登米市民病院 だより

令和3年6月 第26号

編集・発行 / 事務局

TEL 0220-44-4795

FAX 0220-22-0345

E-mail iryoshimin-kanri

@city.tome.miyagi.jp

三上 哲彦 医師

診療科：内科

前任地（勤務先）：十和田市立
病院

出身地：埼玉県越谷市

趣味：農作業

中島 志織 医師

診療科：泌尿器科

前任地（勤務先）：秋田大学医学
部附属病院

出身地：宮城県南三陸町

趣味：フルーツ、手話

新任医師 の紹介

荒木 沙月 医師

診療科：内科

前任地（勤務先）：仙台医療センター

出身地：宮城県多賀城市

趣味：登山、ランニング

宮城 暢明 医師

診療科：内科

前任地（勤務先）：仙台医療センター

出身地：宮城県仙台市

趣味：スポーツ観戦

赤石 隆二郎 医師

診療科：外科

前任地（勤務先）：東北大学病院

出身地：宮城県仙台市

趣味：城跡巡り、そば屋巡り

照井 洋輔 医師

診療科：内科

前任地（勤務先）：東北大学病院

出身地：岩手県盛岡市

趣味：スポーツ観戦

6名の医師が着任しました

令和3年4月より、登米市民病院に6名の医師が加わりましたので、紹介させていただきます。これに伴い、診療体制表が変更になります。詳細については登米市民病院のホームページをご覧ください。

医師退職のお知らせ

令和3年3月31日付で退職した医師をお知らせします。

伊妻 壯晃	内科（副院長）
杵淵 忠司	リハビリテーション科（リハビリテーション科部長）
矢尾板 信裕	内科
遠藤 祐哉	内科
加藤 佑実	外科

登米市民病院にNPが誕生しました

診療看護師（NP）とは？

NPとはナースプラクティショナーの略です。医師と看護師の中間職で、1960年代に米国で生まれました。

日本では2008年に養成が開始され、実務経験5年以上の看護師が、大学院等の養成課程を修了し、日本NP教育大学院協会の実施する認定試験に合格する必要があります。

2008年の養成開始当時はナースプラクティショナー（NP）の名称を用いていましたが、その後、日本語名称の診療看護師（NP）が用いられることとなりました。

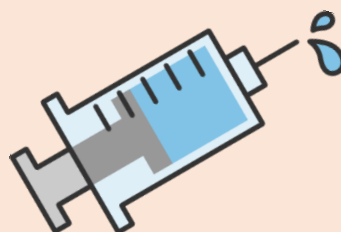
現在、我が国において「診療看護師」は制度化されていません。日本NP教育大学院協議会の認定する看護師は、あくまで現行法の範囲内で、医師の指示の下、診療の補助を行うものであり、医師の指示を受けずに一定レベルの診断や治療などを行うことができる米国等の「ナースプラクティショナー」とは異なります。

NPに期待されているのは？

NPがいることで、患者への迅速な処置や、医師の負担軽減などの利点があります。現在登米市と東北医科薬科大病院は連携した活動を展開し、東北医科薬科大病院のNPが豊里病院に派遣されており、高齢化が加速する東北の過疎地からも「地域医療の切り札」になると期待が集まっています。

登米市でもNP育成に力を入れ、昨年度までに登米市民病院の看護師2名がNPの資格を取得しました。

今後、医師の働き方改革が進み、現在医師が行う業務の一部をNPが担うことになれば、NPの活躍の場面はさらに増えると予想されます。



病院入口の検温と手指消毒のお願い

正面玄関入口にて自動検温システムカメラによる検温を実施しております。来院の際は、マスクの着用、手指消毒をお願いいたします。

また、咳や発熱等の症状がある方は、職員にお声がけ下さい。

入院患者面会制限のお願い

入院・退院に関する手続き、病状説明、手術の前後などの特に必要とされる場合には、面会が可能となる場合があります。詳細については入院時にお問い合わせください。

